



# 学校だより

平成30年度 11月号

～ひとがすき まちがすき いわさきの子～  
横浜市立岩崎小学校 電話 331-5123 FAX 331-5343

## 言葉で想いを伝える

副校長 足立 一明

10/20(土)6:00、運動会当日朝。未明まで小雨が降っていましたが、朝陽と共に晴れ上がり、水撒きも不要なほど校庭はベストコンディションでした。朝6時前には西門前に保護者が並び始めました。「おはようございます。」のあいさつの後、準備が始まりました。

午前8:50。晴れ渡る空の下、入場行進で運動会がスタートです。

開会式の式典係は本当に緊張します。1年生は初めて見る「聖火」に感動です。

プログラムNo1「ラジオ体操」。担当の子たちは今年度全国配布の90周年記念DVDを見て、ずいぶん練習してきたようです。前に並んで向かい合い、左右逆の「鏡動き」も完璧でした。

各学年の徒競走はとても見応えがありました。特に高学年はダイナミックなフォームでリズムカルに走り抜ける子が増えたように思います。

団体競技も工夫された内容構成で、子ども達が真剣に戦う場面を見ることができました。

また、今年の昼食は家族揃って食べることができ、去年の分まで楽しそうでした。全校種目のダンス・綱引きは、盛り上がります。得点種目は尚更です。

団体演技3・4年生の「カーモンベイベーソーラン」では、3年生も難しい中腰スタイルのかまえを4年生から指導されました。1・2年生の「もりあがれGOGOGO」は、キラキラポンポンでの演技です。練習では2年生がしっかりリードしました。そして岩小伝統の5・6年生のエイサー。一人一人の力強さと集団の隊形変化、パーランカーを叩いた後のビシッとポーズを決めるところなど、さすが高学年らしい演技でした。

低学年紅白リレー。第1走者はセパレートレーンを使って3年生がスタート。輪バトンを引き継いで、速いピッチの低学年らしい全力疾走でした。ラストを飾った高学年紅白リレーは練習とは違う競り合いが見られ、アンカーまで混戦した名勝負でした。

毎年、地域の方々にも感動を抱かせる「応援合戦」には必ず「エール交換」があります。赤組は白組へ、白組は赤組への相手を称える応援です。はじめ1年生は戸惑いますが、「正々堂々と戦おう」という気持ちと「思い切りかかってこい。負けるものか。」という自分を奮い立たせる思いを含み、相手に向けた大声での応援です。今年の団長は赤組は山寄湊さん、白組は分目姫子さんの男女でした。団長の醍醐味は、言葉をリズムに乗せ、自組全体をリードし、盛り上げていく楽しさが実感できることだと思います。この「言葉を通した想いの伝達」は人類には大切なアイテムです。今回も大声で想いを伝え、引き付け、盛り上げました。

応援だけでなく、日常でも言葉の力はすごいものがあります。「たった一言が人の心を傷つける。たったひと言が人の心を温める。」とされています。言葉の暴力も、救われる思いがする言葉もみんな一言からです。大人も同じで、言葉は心して使わなければいけないと思います。ここで詩を紹介します。

その一言で励まされ その一言で夢を持ち その一言で腹が立ち

その一言でがっかりし その一言で泣かされる

ほんのわずかな一言が 不思議に大きな力を持つ ほんのちょっとの一言で

東京都荒川区の幼稚園 元園長の高橋系吾さんの「その一言」です。短い詩の中に、言われた一言から心の持ち方に大きな違いが生まれることを表しています。その一言を言う人は心から支えてあげたいという真の気持ちを伝えています。こんなことを言ったら相手を傷つけてしまうかもしれない、怒らせてしまうかもしれない、ということも考えなければいけません。言葉は本当に大きな力を持っています。これからも自分の感情を整理して、相手にどう伝えるか、どういう言葉遣いをしたらよいか考えたいと思います。

12月には人権週間があります。運動会の後は「その一言」も真剣に考えたいものです。

最後に、今年の運動会は土曜日、晴天快晴の中での開催となり、多くの保護者や地域の方々に参観いただき、子ども達への大きなご声援で大いに盛り上がりました。また、閉会後にはたくさんの方々の参観者方にお手伝いいただき、手早く片付けができました。ありがとうございました。心より感謝申し上げます。